



ドマのようす



屋内のようす

喜多見^{きたみ}で代々農業を営んでいた加藤家の主屋は、江戸時代後期の一般農家によく見られる整形四間取りで、口伝^{せいはい}などから安政2（1855）年にはすでに建っていたと考えられています。

明治期に養蚕を行っていた加藤家では、主屋で蚕を飼育するための設備が備わっています。ヒロマには煮焚き用とは別の加温用の炉がつくられ、また換気をスムーズに行うために、天井を板簀子とし、屋根の棟に煙出し^{やぐら}櫓をつくっています。

きゆうかとうけじゆうたくおもや
旧加藤家住宅主屋
世田谷区指定有形文化財